

令和8年度

第1回秋田県立保呂羽山少年自然の家協働会議

日時 令和8年4月30日(木)

午前10時から

会場 秋田県立保呂羽山少年自然の家研修室

次 第

- 1 開会
- 2 所長あいさつ
- 3 委員及び職員紹介
- 4 会長及び副会長選出
- 5 会長あいさつ
- 6 議事
 - (1) 令和8年度秋田県立保呂羽山少年自然の家の経営について
 - (2) 令和8年度重点推進事項について
 - (3) 令和8年度主催事業について
 - (4) その他
- 7 生涯学習課長あいさつ
- 8 閉会

令和8年度 秋田県立保呂羽山少年自然の家 協働会議名簿

委員

所 属 等	役 職 名	氏 名	備 考
秋田県教育庁南教育事務所	主任社会教育主事 (兼) チームリーダー	高 橋 博 秋	
湯沢雄勝校長会	高瀬小学校長	小 野 詠 子	
県南社会教育主事協議会	会 長	高 倉 正 人	
ほろわ地区交流センター	センター長	阿 部 美紀子	
社会福祉法人 育童会 醍醐保育園	前 園 長	加 藤 敦 美	
NPO法人 大森スポーツクラブさくら	理 事 長	渡 部 卓	
横手星の会	会 長	武 市 徹 也	
ほろっとキッズ	会 長	高 橋 大 成	
公募		佐 藤 友 治	

教育庁生涯学習課

職 名	氏 名
課 長	内 田 鉄 嗣
社会教育・読書推進チーム 社会教育主事	三 浦 洋 平

保呂羽山少年自然の家

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所 長	武 藤 浩 紀		
【 総 務 チ ー ム 】		【 指 導 チ ー ム 】	
副 主 幹 (兼) チームリーダー	小 松 正 典	主任社会教育主事 (兼) チームリーダー	矢 尾 健
主 事	茂 木 陽 大	主 査 (兼) 社 会 教 育 主 事	北 畠 良 晴
技 能 主 任	佐 藤 清	社会教育主事補 (兼) シニアエキスパート	村 上 友 一
非 常 勤 職 員	伊 藤 礼 子	社会教育主事補	永 澤 純 二
非 常 勤 職 員	阿 部 幸 悦	研 修 員	丹 尾 洋 樹
専 任 当 直 員	佐 藤 悟	非 常 勤 職 員	今 野 遥
専 任 当 直 員	菊 池 喜 美 夫	非 常 勤 職 員	佐 藤 善 樹

令和8年度の経営について

秋田県立保呂羽山少年自然の家

1. 経営にあたって

(1) 国・県の施策・教育動向等

- 第4期教育振興基本計画 (文部科学省)
- 第4期あきたの教育振興に関する基本計画 (秋田県教育委員会)
- 教育施設等のセカンドスクールの利用の推進 (秋田県教育委員会)
- みんなでつくる！体験活動構築事業 (秋田県教育委員会)

(2) 少年自然の家の設置理念

- ①自然の中での体験活動を通じた青少年の健全育成
自然の中での体験活動を通して、心身の健康、たくましさ、自主性を育てる。
- ②集団宿泊体験による社会性・協働性の育成
集団での生活を通して、協力、思いやり、責任感、コミュニケーション力等を育てる。
- ③体験活動の拠点としての社会教育施設：
青少年だけでなく、幅広い世代が学び合う機能を持つ。
- ④自然・地域への理解と環境への意識の醸成
自然に親しむ体験を通じて、自然環境への理解と愛着を育てる。

2. 当施設について

(1) 環境、設備等の概要

- ・1978年(昭和53年)開所。令和8年度は開所から48年目を迎える。
- ・ブナやナラ、落葉松などの豊かな自然の中にある。
- ・霊峰鳥海山と出羽丘陵の山並みに抱かれている。
- ・信仰の山「保呂羽山」と「波宇志別神社」、「霜月神楽」が有名である。
- ・化石観察と採集活動ができる場がある。
- ・53艇のカヤック・カヌーを有し、カヌー活動ができる。
- ・冬季には2m前後の積雪がある。

(2) 利用状況の推移

年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数	15,722	7,632	8,650	9,731	11,128	10,404	9,700
セカンドスクール利用者数	9,356	6,809	7,848	8,643	9,573	7,744	6,940
宿泊者数	7,121	720	1,810	2,439	4,112	3,484	3,296

(3) 令和7年度の利用者アンケート(5段階評価)分析の概要

項目	「5:とても良い」	「4:良い」
①総合的な満足度の割合	78.3 %	21.7 %
②事前打合せや利用相談の満足度の割合	80.4 %	19.6 %
③職員の指導支援の満足度の割合	93.5 %	6.5 %
④野外活動コースに対する満足度の割合	76.2 %	23.8 %
⑤施設・設備に対する満足度の割合	45.7 %	45.7 %
⑥食事に対する満足度の割合	45.2 %	38.1 %

(4) 令和7年度の成果と課題 (○成果、●課題)

- 自然体験活動及び宿泊体験活動の充実を図るために、実態把握や指導方針等を共有して指導に当たった。それらにより、来所者に高い達成感や満足感を味わわせることができた。
- 安心・安全な活動を提供できるよう、施設内外の環境整備や自然状況等の情報収集を徹底できた。細かなヒヤリハット事案について検証を重ね、未然防止の対策についても検討できた。
- 県民のニーズに応えるためには、各活動や事業等の目的やねらいを整理し、工夫改善を進める余地がある。施設・設備への不満をも払拭できほどの価値ある体験活動を創造していく必要がある。将来の社会教育施設の再編を見据えた“保呂羽”の魅力を発信していきたい。

3. 経営の具体

(1) 基本方針

社会教育施設として、児童・生徒はもとより、幼児から高齢者まで幅広い年代層に向けて、周辺の自然環境や施設の特色を生かした自然体験活動や研修を提供する。そのために、安心・安全な環境を整備するとともに、研修目的が達成できるように利用者に寄り添う適切な指導・支援を行う。

(2) こんな自然の家に

①感動体験を味わわせる場

光と風と緑の中で五感をフルに使った自然体験活動を提供する。その活動を通して、心身の健康・たくましさ・自主性を育てるとともに、友達と協力して成し遂げる達成感や充実感、感動を味わわせる。

②社会教育施設として

幼児から高齢者まで幅広い年代層の方の利用を促す「ドキドキ・ワクワクの体験活動」を創造する。

③「体験の風」を保呂羽から

家庭ではできない本物の体験活動を通して、社会をたくましく生き抜く力を育む。

(3) 目指す姿

①目指す少年の姿

雑草のようにたくましく 春風のようにさわやかに 太陽のように明るく
野鳥のように自由に 野の花のように美しく

②目指す職員の姿

■職員の総称：「アタック隊」 ~運営方針を共有し、チーム全員での登頂を目指す~

■モットー：「シンプルを深く チェンジを楽しく」

シンプルを深く：保呂羽の環境の中での体験活動、AAP、主催事業の充実

チェンジを楽しく：各業務、各活動をバージョンアップ。

■キャンピングネーム ⇒ 利用される方々に親しみをもっていただく第一歩として

- ・専門性を発揮し、利用者に寄り添って活動を支援する職員
- ・出会いを大切にし、温かい言葉がけと思いやりのある行動に努める職員
- ・互い支え合い、協力して汗する職員

③目指す施設の姿

- ・安心・安全で活動場所がよく整備されている施設
- ・明るく丁寧で迅速に対応する職員がいる施設
- ・活動のねらいや目的が達成できる施設

(4) 重点目標

スローガン

確かめ合おう 大切なもの 光と風と緑の中で

- ①利用者の身体的、精神的な安心・安全を担保するリスクマネジメントの徹底
- ②幅広い年齢層を対象とした豊かな自然体験・感動体験ができるプログラムの提供
- ③ねらいを明確にし、施設の魅力や利用者のニーズに沿った主催事業の企画・運営
- ④セカンドスクールの利用に対応するプログラムの一層の整備と支援の充実
- ⑤地域、民間団体及び関係機関との連携強化

(5) 重点事項

- ①少年自然の家の設立の趣旨に則った指導・支援の充実 → 利用者のニーズの把握
 - 1) 体験活動は人づくりという認識のもとに、育てる意識を大切にした指導の充実
 - 2) 自然、友、非日常との出会いと、感動体験を味わわせる価値ある体験活動の提供
 - 3) 利用団体の主体性を尊重し、研修目的の達成に向けた活動計画作成の指導・支援
 - 4) 県の最重点の教育課題“「問い」を発する子ども”の育成に資する体験活動プログラムの構築
- ②利用者数、幅広い利用者層の拡大 → 広報活動、誘客活動の工夫
 - 1) 利用者の満足度を高める魅力的な体験活動の提供とねらいや目的に応じた指導・支援
 - 2) メディア、ポスター、チラシ等、多様な広報活動の展開
 - 3) 各主催事業の成果を学校、一般の方新聞、情報誌等へ発信
 - 4) 主催事業の活動内容の工夫・改善とセカンドスクールのプログラムの充実
- ③危機管理の徹底 ～活動中の事故の未然防止～
 - 1) 施設設備の日常の安全点検及び保全
 - 2) 危険箇所及び危険と予測される箇所の事前対策とその周知（野生鳥獣対策を含む）
 - 3) 利用団体への安全意識の啓発と安全指導（熱中症対策を含む）

スローガン 「確かめ合おう 大切なもの 光と風と緑の中で」

重点目標

- 1 利用者の身体的、精神的な安心・安全を担保するリスクマネジメントの徹底
- 2 幅広い年齢層を対象とした豊かな自然体験・感動体験ができるプログラムの提供
- 3 ねらいを明確にし、施設の魅力や利用者のニーズに沿った主催事業の企画・運営
- 4 セカンドスクールの利用に対応するプログラムの一層の整備と支援の充実
- 5 地域、民間団体及び関係機関との連携強化

重点事項

- 1 少年自然の家の設立の趣旨に則った指導・支援の充実 → 利用者のニーズの把握
 - (1) 体験活動は人づくりという認識のもとに、育てる意識を大切にした指導の充実
 - (2) 自然、友、非日常との出会いと、感動体験を味わわせる価値ある体験活動の提供
 - (3) 利用団体の主体性を尊重し、研修目的の達成に向けた活動計画作成の指導・支援
 - (4) 県の最重要の教育課題“「問い」を発する子ども”の育成に資する体験活動プログラムの構築
- 2 利用者数、幅広い利用者層の拡大 → 広報活動、誘客活動の工夫
 - (1) 利用者の満足度を高める魅力的な体験活動の提供とねらいや目的に応じた指導・支援
 - (2) メディア、ポスター、チラシ等、多様な広報活動の展開
 - (3) 各主催事業の成果を学校、一般の方新聞、情報誌等へ発信
 - (4) 主催事業の活動内容の工夫・改善とセカンドスクールのプログラムの充実
- 3 危機管理の徹底 ～活動中の事故の未然防止～
 - (1) 施設設備の日常の安全点検及び保全
 - (2) 危険箇所及び危険と予測される箇所の事前対策とその周知(野生鳥獣対策を含む)
 - (3) 利用団体への安全意識の啓発と安全指導(熱中症対策を含む)

↑
目指す少年の姿

↑
目指す所員の姿

↑
目指す施設の姿

基本方針

社会教育施設として、児童・生徒はもとより、幼児から高齢者まで幅広い年代層に向けて、周辺の自然環境や施設の特徴を生かした自然体験活動や研修を提供する。そのために、安心・安全な環境を整備するとともに、研修目的が達成できるように利用者に寄り添う適切な指導・支援を行う。

こんな自然の家に

1 感動体験を味わわせる場

光と風と緑の中で五感をフルに使った自然体験活動を提供する。その活動を通して、心身の健康・たくましさ・自主性を育てるとともに、友達と協力して成し遂げる達成感や充実感、感動を味わわせる。

2 社会教育施設として

幼児から高齢者まで幅広い年代層の方の利用を促す「ドキドキ・ワクワクの体験活動」を創造する。

3 「体験の風」を保呂羽から

家庭ではできない本物の体験活動を通して、社会をたくましく生き抜く力を育む。

令和8年度 指導チーム重点推進事項

秋田県立保呂羽山少年自然の家

2つの役割

- 1 学校教育施設としての自然の家
- 2 社会教育施設としての自然の家

1 学校教育施設として学校の教育活動をサポートする～利用者の満足度向上のために～

- (1) 利用団体への支援の充実
 - ねらいを達成できる無理のない活動計画作成への助言
 - 活動毎の説明（レクチャー）の工夫・改善
 - 利用者の安心・安全を確保する環境整備
- (2) あきたアドベンチャープログラム（AAP）の充実
 - ねらいに応じたプログラムの組み立て
 - 施設的环境を生かした独自プログラムの開発
- (3) カヌー活動時の安全確保
 - スタッフの役割分担（水上、陸上）の明確化
 - カヌー活動に関わる注意事項の共有（スタッフ、引率者の共通理解）
- (4) 令和6～7年度に作成した体験活動プログラムの活用と周知
 - 活動計画作成時の情報提供（雨天時の火おこし体験等）
 - 活動プログラムの周知を図るため、館内の掲示コーナーを充実させる

2 社会教育施設として、多様な学習機会を提供する

～幅広い年齢層を対象とした豊かな自然体験・感動体験ができるプログラムの提供～

- (1) 魅力ある主催事業の企画運営
 - 見直しを行った主催事業の検証（ニーズの把握、アンケート結果の反映）
 - リピーターにも新規参加者にとっても魅力あるプログラムの開発
 - 幅広い年齢層の方々に参加してもらえる事業の開催
- (2) 関係機関との連携
 - 横手市生涯学習課（夏・冬休み子ども教室）、県幼保推進課（新規採用者研修会）南教育事務所（初任者研修AP研、放課後支援者研修会）、高校教育課（イングリッシュキャンプ）、大仙市・湯沢市・横手市で主催事業を実施
- (3) 関係団体との連携
 - ほろっとキッズ（自主事業）、南部シルバーエリア（出前講座）、天下森開発公社（天下森スキー場を会場に主催事業を実施）

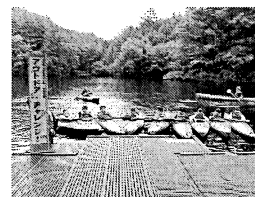
3 資質向上・広報活動に関して

- (1) 利用者のニーズに応える知識・技術の習得
 - 野外炊飯実習、主催事業の事前踏査等の実施
 - 自然（山野草等）の魅力を伝えるための、スタッフ研修会の実施
- (2) ほろわの魅力発信
 - 館内掲示の充実、SNSを活用したリアルタイムの情報発信
 - フェイスブック、ホームページを活用した主催事業の紹介
 - 主催事業（雪ん子体験）時のパネル展示

令和 8 年度



ほろわんぱく主催事業一覧

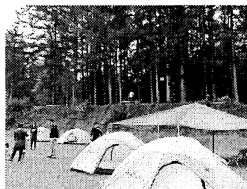


〔自然の家・周辺〕

No.	事業名	実施予定期日《日程等》	事業内容	対象・人数
1	大人のアウトドア塾Ⅰ	5月16日(土)	春の保呂羽の自然に触れたり、自然物を採取したりします。	大人及び大人を含む家族・グループ 15名程度
		《日帰り》		
2	チャレンジキャンプ in ほろわ	7月30日(木)～ 8月1日(土)	2泊3日の日程で、自然の家周辺の散策や鳥海山の登山等にチャレンジします。	小学4年～中学生 15名程度
		《2泊3日》		
3	エンジョイカヌー	8月22日(土)	カヌーの基本操作を学び、カヌー活動を楽しみます。	大人及び大人を含む家族・グループ 午前・午後、各20名程度
		《午前・午後》		
4	大人のアウトドア塾Ⅱ	9月5日(土)	カヌー場周辺の自然に触れながら、SUP(サップ、スタンドアップパドル)を楽しみます。	大人及び大人を含む家族・グループ 午前・午後、各6名程度
		《午前・午後》		
5	エンジョイキャンプ	9月19日(土)～ 9月20日(日)	秋の保呂羽の森でのキャンプを楽しみます。	小学1年～3年生 15名程度
		《1泊2日》		
6	アウトドアチャレンジ	10月24日(土)	秋の保呂羽山周辺で色々な野外活動にチャレンジします。	小学1年～6年生 15名程度
		《日帰り》		

〔出 前〕

No.	事業名	実施予定期日《会場》	事業内容	対象・人数
1	みんな森の芸術家 ～クリスマス工作～	12月6日(日)	保呂羽の森で採取した松ぼっくりなどの自然素材を使ってクリスマス飾りを作ります。	どなたでも 午前・午後 各30名程度
		《会場：横手市》		
		12月13日(日)		
		《会場：大仙市》		
2	雪ん子体験	3月上旬	そり遊びをしたり、エアチューブを体験したりして秋田の冬を楽しみます。	幼児～大人
		《会場：天下森スキー場》		



＜申込みについて＞

- 事業の詳細については、開催日の1ヶ月前をめやすにホームページへ公開します。
- 申込みに必要な事項を記入し、メールまたはFAXでお申込みください。

秋田県立保呂羽山(ほろわさん)少年自然の家

『愛称：ほろわんぱく』

〒013-0561 秋田県横手市大森町八沢木字大木屋73

Tel 0182-26-6011 Fax 0182-26-6012

ホームページ <https://www.pref.akita.lg.jp/horowa-sizen/>

電子メール horowanpark@pref.akita.lg.jp

＜ホームページ＞



＜フェイスブック＞



令和8年度 年間予定表

2026.4.10現在

※学校名の下の数字は引率を含まない（仮申込書の児童生徒数）

園・小学校
合同利用
中学校
一般
教育庁等
主催事業

4月	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木		
					5日ほろっとキッズ総会午後2時				育関保職員会議	横手清陵学院中AAP 午前5時			横手高校校定時制AAP午後	14火(仮)西仙北中出前	15水 事務所等連 締会議※オ 美郷中出前	16木 秋田修英出前AAP	17金 羽後高校出前AAP 午後				※本監査 九時 リモート	少年自然の家等指導者 研修(会場・保呂羽)		横手北中出前							協働会議(午前)	
5月	1金 避難訓練・救急救命講習	2土	3日 憲法記念日	4月 みどりの日	5火 こどもの日	6水 水振替休日	7木 大曲西中出前 午後	8金	9土	10日	11月	12火 十文字中1年生(来所)	13水 幼保推進課初任研	14木 平鹿中1年生(来所)	15金 横手南中1年生 出前AAP	16土 大人のアウトドア塾I	17日	18月 カヌー講習会(予定)	19火 六郷 48	20水 高瀬 8	21木 横手南 80	22金	23土 沼館保育園(雨天時利用)	24日	25月 十文字 93	26火 栄・山内 24	27水	28木 大曲 135	29金	30土	31日	
6月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日 高校教育課Eキャンプ	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	1水	
			東大曲 15					三輪 14			山田 12				仙南 46		南外 15						四ツ屋 27		大森 19				神代 27		湯沢東 56	
			羽後明成 18	高梨横堀 46					吉田 19		浅舞 34				生保内 52	湯沢西 65								横手北 77								
7月	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金	
		神岡 30			5日ほろっとキッズ	チャレンジキャンプ 事前審査日	チャレンジキャンプ 事前審査日			皆瀬 5									飯(仮)シルバニア 工作出前	海の日				横手北 77							チャレンジキャンプ	
			雄物川 57								西仙北中出前																					
8月	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	31月	
		チャレンジキャンプ				南教初任研前日準備	南教育事務所初任研				火山の日												エンジョイカヌー									
9月	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水		
		稲川 37		川西保育園来所	大人のアウトドア塾II				大雄 28	雄勝 27					南教育事務所放課後支援研修出前					エンジョイキャンプ	敬老の日	国民の休日	秋分の日				飯予約(どちらからか)	醍醐小 稲川校長より				
			東由利 10							旭 43																						
10月	1木	2金	3土	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金	31土	
												スポーツの日													アウトドアチャレンジ							

令和8年度 年間予定表

2026.4.10現在

※学校名の下の数字は引率を含まない（仮申込書の児童生徒数）

園・小学校

合同利用

中学校

一般

教育庁等

主催事業

11月	1日	2月	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
			火文化の日																				23月 勤労感謝の日									
12月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	火	水	木	金	土	日 クリスマス工作（横手市）	月	火	水	木	金 （西仙北中出前）	土	日 クリスマス工作（大仙市）	月	火	水	木	金	土	日 クリスマス工作（湯沢市）	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
1月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	金 元日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	11月 成人の日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
2月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日				
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	11月 建国記念の日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
3月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	月	火	水	木	金	土	日 雪ん子体験	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	21日 春分の日	22日 振替休日	23日 火	24日 水	25日 木	26日 金	27日 土	28日 日	29日 月	30日 火	31日 水

秋田県立保呂羽山少年自然の家協働会議設置要綱
(平成31年3月13日教呂-306)

最終改正 令和7年4月1日

(趣旨)

第1条 この要綱は、教育機関の管理及び運営に関する規則(昭和61年3月26日教育委員会規則第5号)第27条の規程に基づき、秋田県立保呂羽山少年自然の家協働会議(以下「協働会議」という。)の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 秋田県立保呂羽山少年自然の家(以下「自然の家」という。)の運営に関し、地域の意見を反映させるため、協働会議を設置する。

(所掌業務)

第3条 協働会議は、自然の家の運営に関し、次の業務を行う。

- 一 自然の家所長(以下「所長」という。)が作成する運営基本方針の確認
- 二 運営状況等に関する評価と意見
- 三 地域住民等の参画の促進
- 2 協働会議の運営が著しく適正を欠くことにより、自然の運営に支障が生じ、または、支障が生じるおそれがあると認められる場合、所長は協働会議の業務を停止することができる。

(組織及び委員)

第4条 委員の定数は、10人以内とする。

- 2 委員は、次に掲げる者のうちから、所長が委嘱する。
 - 一 学校教育及び社会教育の関係者
 - 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - 三 学識経験のある者
 - 四 自然の家利用者
 - 五 一般からの公募者
 - 六 その他、所長が委員として相応しいと判断した者
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。
- 5 所長は、特別の事由があるときは、委員の委嘱を解くことができる。

(会長及び副会長)

第5条 協働会議に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、協働会議を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協働会議の会議は、所長が招集する。

- 2 会議は定例会及び臨時会とし、定例会は年2回、臨時会は必要がある場合に開催する。
- 3 会議の公開に関しては、審議会等の会議の公開に関する指針(平成11年12月3日総務部長通知)に基づき、会長が協働会議にはかつて定める。

(議事)

第7条 会長は、会議の議長となる。

- 2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(事務局)

第8条 協働会議の事務局を自然の家総務チームに置く。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協働会議の運営に関し必要な事項は、会長が協働会議にはかつて定める。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。